

府大教ニュース

・ 2017年度定期大会報告

2017.9.21

発行

No. 747

府大教情宣部発行

堺市中区学園町1-1

大阪府立大学内

TEL/FAX 072(257)8992 (直通)

072(252)1161 (内線2751)

e-mail: fudaikyou@leto.eonet.ne.jp

http:// www.eonet.ne.jp/~fudaikyou /

2017年度府大教定期大会 活動方針など7議案を可決

8月30日(水)、B3棟(教育棟)117教室において、2017年度府大教定期大会が開催されました。大会は小嶋副委員長の開会宣言に続き、りんくうキャンパスからの中継による大会参加の承認の後、議長に伊藤代議員を選出しました。引き続き、大会役員の選出と承認、書記(議事録署名委員)の任命が行われました。

はじめに、山田前年度書記長より2016年度活動報告(第1号議案)が行われました。勤務労働条件改善の取り組みとして、2016年度給与改定要求書に対する回答を受け、期末・勤勉手当を4.20月から4.30月とすること、給料表のマイナス改定を府と同じく4月遡及とすることを押し戻し、2017年4月からのマイナス改定とすることで妥結し、代償措置として教員は基盤研究費の追加措置、職員は研修制度や福利厚生事業の充実を獲得したことが報告されました。学年暦の見直しについては、労働基準法等の法令を遵守し、代休取得手続きの適切な履行や改善に向けた努力を申し入れていること、教員の任期規程の改正については無期転換権発生期間を10年とすることを遵法の見地から了承したこと、裁量労働制については協定書を締結したことなどが報告されました。

民主的な大学運営に対する取り組みでは、法人に、市大との統合について十分な議論を行うことを求めたこと、教育研究に支障をきたすことのない人事計画と運営費交付金の増額を府に交渉するよう求めたことが報告されました。

第2号議案として山田前年度書記長から「2016年度一般会計、特別会計」の決算報告、芦田会計監査委員から会計監査報告が行われ、第3号議案(労働協約締結・改定の承認に関する件)が提案されました。決算報告について代議員より、現在の組合員は何名か、また雑収入はどのようなものかという質問があり、執行部より組合員数は281名、雑収入は労金出資金の配当金、銀行利息、手数料収入等であることが説明されました。

続いて採決が行われ、第1号議案、第2号議案は可決(反対0、保留0、賛成多数)されました。また、第3号議案が拍手で承認されました。



2017 年度定期大会役員

大会議長	議事運営委員会	資格審査委員会
伊藤代議員	委員長 楠川代議員	委員長 石田代議員
書記(議事録署名委員)	委員 高根代議員、堀田執行委員	委員 竹内、築瀬、井藤執行委員
大前代議員	委員 向本代議員(りんくう)	委員 岩崎代議員(りんくう)

2017 年度川田委員長から新執行部体制の紹介が行われました。上田書記長からは、第 4 号議案(2017 年度活動方針案)、第 5 号議案(組合費改定に関する件)、第 6 号議案(2017 年度予算案)が提案されました。

2017 年度活動方針は、教職員の労働条件の改善について、給与については「大阪府準拠」を改善するとともに、不利益変更への代償措置を獲得していくこと、年休取得については改善に向けて交渉を続けること、職員の法人独自の人事制度の構築とともに人事評価制度の見直しを要求していくこと、教員の業績評価については勤務評定制度協議会に組合から委員を出し交渉していくことなどが述べられました。その後、第 4 号議案、第 5 号議案、第 6 号議案の採決が行われ可決(反対 0、保留 0、賛成 43)されました。

続いて上田書記長から、第 7 号議案(全国公立大学教職員組合連合会(公大連)の脱退に関する件)の提案が行われ、質疑、採決の結果、可決(反対 0、保留 0、賛成 43)されました。最後に、金田書記次長から「大会決議案」の提案が行われ大きな拍手で承認され、閉会宣言とともに大会は終了しました。

大会決議

大阪府市の副首都推進本部が推し進める大阪府立大学と大阪市立大学の法人・大学統合は 9 月の府議会・市会に新法人定款案が提案されようとしており、大阪府立大学とそこに働く私たち教職員は、大学の存亡に関わる新たな局面を迎えています。これまで統合議論に振り回されながら大幅な運営費交付金と教職員の削減の暴挙に見舞われ、大学の疲弊が著しい今こそ、法人・大学統合に向けての全大学人による真摯な議論が必要です。

安倍政権は安保法制の強化や憲法改悪に大きく歩みを進める一方で、「森友・加計問題」によって安倍政権の腐敗の構造が明るみにされました。国力の増強と経済成長が殊更に強調され、大学に対する軍事関連研究推進の押しつけと「国立大学 3 類型化」や「指定国立大学法人制度」など教育研究に不当に介入し、高等教育機関を競争的資金で従属させようとする安倍政権の政策は、大学人が大切に守ってきた「個人の尊重」と「学問の自由」を蹂躪し、大学の民主的な発展を阻害するものです。

府大教は、自主自律の精神にあふれる府立大学の伝統を重んじ、将来を切り拓くために、すべての教職員の叡智を結集した民主的な真の大学改革を目指して運動を進めていきます。

府大教は、労働運動の長い歴史の中で労働者自らが勝ち得た団結する権利を尊び、すべての教職員の団結の下、教育研究環境と勤務労働条件の改善に向けて力強く前進していくことを決議します。

「大阪府立大学の民主的な将来を切り拓き、働く条件を改善するために組合加入を！」をスローガンに、共に頑張りましょう。

2017 年 8 月 30 日

大阪府大学教職員組合 2017 年度定期大会